



我々が生活する中で重要視する一つが健康です。そこで問題になるのが**気**です。気の変化によって我々の状態が変わります。寒さを感じると寒気がし、風邪をひく前兆です。健康診断に行き、何事も無ければ元気印を頂き、健康を喜べます。異常が見つかれば気落ちし、病気になります。それでは上記の図を参考に考えてみましょう。

人間は気力が負けて無気力になると、まず身邊に於ける向上が止まり。やがて**心の作用**も止まり、人間を支配している陽気が失せ陰気に包まれます。そして病の巣くうところとなり、病が勝ち誇れば薬石の効果が無くなり気落ちして死を迎える事になります。一般的に病死と呼ばれる状態です。逆に我々が病気に罹^{かか}っても気力が充実し、気落ちする事も無く気力が充実すれば薬石も効を奏し病が負けて、身体が元に戻ってゆき元気に成れるはずです。

それでは茲に出てくる**気**とは何かと言いますと、**自然界の天と地を司る神仏の靈気、**

先祖から受ける靈気、等アニミズムの思想を指します。

現代の社会は佛ほっとけ、神かまうな、の言葉だけが走って内容が伴っていません。気の働きの一つは社会を形成する一番大切な親子関係、血統の絆がどの程度理解されているかと言う事にあります。先祖に対しても**長男、長女（嫡子）**の使命はとても大きなものがあります。天の**気**も土地の**気**も今や忘れ去られ様としております。やがて人間は天地の恵みから見放され自然の猛威に脅え、人間の能力が如何に未熟であるか思い知れされる事になります。気を大切に生きようとすれば森羅万象に対し敬を以って接し、自身の尊厳を失わずに共生し、神仏を尊崇して信心の高揚に磨きを掛けるように精進する事でしょう。

彼岸月です。自分のルーツを再確認し、追善の供養をしましょう。

善入院油掛地藏尊